壺川小学校　学校便り　№１０　　2020年9月11日（金）

命と笑顔が輝く壺川小

文責　校長　藤米田成二

９月はいじめ根絶強化月間です。

例年「いじめ根絶強化月間」は６月に取り組んでいましたが、今年度は新型コロナウイルスによる休校の影響もあり、９月に実施することになりました。

今年度のテーマは、

「いじめは絶対にゆるさない」
～　まわりとのつながりを大切にし、心温まる雰囲気をつくろう～

です。

今年度は、新型コロナウイルスの影響で、これまでのように自由に友達とふれ合ったり話し合ったり遊んだりすることができず、子どもたちもストレスを抱えることがあるかと思います。そのような時だからこそ、友達とのつながりの大切さに気付き、友達を大切にしようと考えるよい機会ととらえ、各学級、学校全体で取り組んでいるところです。

６月の人権旬間の時に**「みんなが笑顔で生活できるように、自分が言われてうれしいことば、自分がされてうれしいことを友達にしましょう。」**と子どもたちに呼びかけました。２学期が始まり、多くの子どもたちは生き生きと登校できています。しかし、中には足取りが重い子もいます。そんな時、周りの友達が自然と声をかけ、寄り添えることができれば素敵だなあと思います。**相手のことを考えること、相手のことを大切に思うこと、それがいじめを根絶するためには必要ではないでしょうか。**

現代は直接的ないじめだけでなく、直接会わなくてもインターネットやＳＮＳを使った仲間外しやいじめが簡単に起こっています。学校では見えないところでいじめを起こさないためにも、日頃から相手のことを大切に考え、いじめを絶対に許さない子どもを育てていけるよう指導をしているところです。ご家庭でもお子さんがインターネットやスマホを使ったいじめに巻き込まれないためにも、親子でルールを決めていただきたいと思います。そして、顔が見えなくても**心と心がしっかりとつながる友達関係**ができるよう、学校と家庭とで子どもたちを支えていければと考えます。

また、新型コロナウイルスの感染が拡がりを見せている中、疑いのある人や感染した人を差別するような事象も起こっているようです。先日、文部科学大臣のメッセージを配布しましたが、そこにも書いてあるように、誰もが感染する可能性があることを考え、**感染した人や団体を責めるのではなく、差別や偏見、誹謗中傷に対し、それに同調せず「そんなことはやめよう」と声をあげ、差別は許さない態度を示してほしい**と思います。

人と人とのつながりを大切に、相手のことを考えた言動ができ、みんなが笑顔で過ごせる壺川小学校でありたいと思います。

台風１０号、その後

７日は台風１０号の通過に伴い、一斉休校となりました。前日には壺川小学校に避難所が開設され、１７世帯２６人の方が避難されました。皆様のご家庭では被害等ありませんでしたでしょうか。壺川小学校では特に被害もなく、無事に８日からの学校をスタートすることができました。

そんな中、８日に登校してきた子どもたちの中には、落ちている枝を拾ってくれたり、落ち葉を掃いてくれたり、車が入った運動場の整地をしてくれたりと自主的に活動してくれていました。

みんなのために働く子どもたちの姿、うれしかったです。さすが壺川の子どもです！